

民生常任委員会 建設常任委員会 所管事務報告
資 料
令和4年11月 1日 令和4年11月11日

※報告日までは、外部への
資料提供はご遠慮ください。

西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業 再検討の結果について

産業文化局 文化スポーツ部

土 木 局 公 園 緑 化 部

目次

1 基本的な考え方の整理	1
2 再検討を行った主な項目	1
3 再検討結果の一覧	2
4 概算事業費	4
5 今後の予定	5
6 次回の報告内容	5

1 基本的な考え方の整理

本事業は、入札公告中止を経て、今年度に入り計2回、所管事務報告を行いました。再検討にあたっては、公園やスポーツが果たす役割も変化しており、特に野外での活動を通じた余暇の充実や健康維持、コミュニティ形成への関心の高まりにも配慮する必要があります。

「住みたい街」としてのブランドイメージを維持・向上させるとともに、多様化するライフスタイルに応えるべく、公園内にスポーツ施設がある立地を活かし公園と各施設を互いに共鳴させ、さまざまな遊び・楽しみ・コミュニケーションを誘発する公園を目標とします。

施設整備については、最近の物価上昇傾向、関連法制の改正（建設業における週休2日制導入等）や脱炭素社会の実現などについても総合的に勘案しながら、令和2年1月に公表した当初の計画内容、特にスポーツに直接関係する機能（アリーナ・武道場・陸上競技場）はおおむね維持することとします。

PFI事業の特性を活かした創意工夫あふれる提案と費用対効果の両立を図りつつ、本事業における再度の公告に向けて、特に重要と考える点について市の考え方を整理しました。

- ・ 公園全体のランドスケープに配慮した、だれもが利用しやすく環境にやさしい公園
- ・ スポーツと公園の相乗効果によるにぎわいとコミュニティを創出するしかけ
- ・ 市民大会をはじめとした「する」スポーツが中心のスポーツ施設
- ・ 多様な活動やイベントを受け入れる公園空間と一体となったスポーツ施設の整備
- ・ 変化するライフスタイルにふさわしい魅力的なサービス提供及び施設運営

2 再検討を行った主な項目

項 目	内 容
体 育 館	・ 延床面積及び観覧席数の削減、諸室の機能集約 ・ 環境に配慮した建築（ZEB=Net Zero Energy Building 認証の取得）
陸上競技場	・ ウォーミングアップ及び観覧スペースとなるトラック外周部の活用
公 園 施 設	・ だれもが遊べる遊具広場の整備
駐 車 場	・ 臨時・中屋町駐車場を含めて、300台程度（観覧席数に対応して計画）
そ の 他	・ 再生可能エネルギーの活用 ・ 体育館及び陸上競技場の整備方法

【参考】

再検討結果の配置イメージ（一例）

敷地面積
約 65,000 m²



※西宮スポーツセンター及び多目的グラウンドの解体、防災施設（備蓄倉庫等）・雨水貯留施設・周辺道路等の整備を含む。

3 再検討結果の一覧

再検討に際しては、新型コロナウイルス感染症の影響などによる近年の社会経済情勢の変化、特にスポーツを取り巻く環境やライフスタイルに応えるとともに、スポーツを「する」・「みる」・「ささえる」を基本とし、スポーツ施設がある運動公園として新たなニーズに応える必要があると考えています。

前回のご報告の中で検討中項目としておりました体育館の環境性能については、本市が令和3年2月に表明した「2050年ゼロカーボンシティ」の趣旨を踏まえ、可能な限り環境への負荷低減を目指すことが大切であると考えました。その結果、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を導入するなどして、体育館の**ZEB化**（ZEB Oriented※）を図ります。

※延べ面積が10,000㎡以上の建物を対象とし、体育館の場合は30%以上の一次エネルギー消費量を削減することなどが条件となる。

陸上競技場については、円滑な大会運営を図るためレーン数は当初計画通り9レーンとし、トラック外周部はウォーミングアップ及び観覧スペースとして大会時などに活用できるように計画します。

また、施設整備の方法については、当初計画では体育館を先行して建設し、その後陸上競技場を整備する段階整備を想定していました。再検討の結果、陸上競技場の早期オープンが可能であり、工期短縮と工費削減も図ることができる**同時期整備**とする計画を主たる案としつつ、段階整備を含むそれ以外の計画も想定することとしました。

主な再検討の結果は、次表でまとめています。

項 目		当初計画案 (R2入札公告時)	再 検 討 結 果
体 育 館	延床面積	約 13,000 ㎡	約 11,000 ㎡ ※事業者提案による増減は原則妨げない
	メインアリーナ	バスケットコート3面分	変更なし
	サブアリーナ	バスケットコート1面分	変更なし
	メインアリーナ 観覧席	3,000 席以上（固定・ 移動席合計）	1,500 席以上（固定席） ※観覧席の増設は事業者提案とし、興行 主による仮設席設置は妨げない
	武 道 場	柔道・剣道場計4面 （観覧席200席）	変更なし ※座席の仕様などは、事業者提案とする
	諸 室	会議室4室 談話室（控室）1室	会議室（ 控室兼用 ）4室
	環 境 性 能	標準程度（省エネ機器の 選定・CO2及び光熱水費 の削減を目指す）	「ZEB Oriented」 の 認証取得

項 目		当初計画案 (R2 入札公告時)	再 検 討 結 果
陸 上 競 技 場	ト ラ ッ ク	第 4 種 公 認 ・ 全 天 候 舗 装 ・ 400m × 9 レーン	変 更 な し
	イ ン フ ィ ー ル ド	人 工 芝 ※ 投 て き 競 技 対 応	変 更 な し
	照 明 設 備	あ り	変 更 な し
	ス タ ン ド 観 覧 席	1,000 席 (一 部 屋 根 付 き)	変 更 な し ※ 観 覧 席 の 増 設 や 座 席 の 仕 様 な ど に つ い て は、事 業 者 提 案 と す る
	ト ラ ッ ク 外 周 部	緑 地 の 観 覧 ス ペ ー ス	ト ラ ッ ク と 同 じ 平 面 に し、ウ レ タ ン 舗 装 等 に よ り ウ ォ ー ミ ン グ ア ッ プ 及 び 観 覧 ス ペ ー ス と し て 活 用
公 園 施 設		子 供 の 遊 び 場 等	イ ン ク ル ー シ ブ 遊 具 の 導 入
再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー		特 に な し (事 業 者 提 案)	太 陽 光 発 電 の 導 入 (必 須) ※ 発 電 容 量 や 他 の 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 導 入 に つ い て は、C O 2 排 出 量 の 削 減 に 留 意 し た 上 で、事 業 者 提 案 と す る
駐 車 場 駐 車 可 能 台 数		約 400 台 以 上 (立 体 ・ 臨 時 ・ 中 屋 町 含 む)	平 面 約 300 台 程 度 (臨 時 ・ 中 屋 町 含 む)
駐 輪 場 駐 輪 可 能 台 数		約 450 台 以 上	変 更 な し
防 災 施 設		備 蓄 倉 庫 等	変 更 な し
雨 水 貯 留 施 設		既 設 450 m ³ + 新 設 3500 m ³	変 更 な し
道 路 改 良		西 側 道 路 右 折 レーン ・ 歩 道 整 備	変 更 な し
民 間 提 案 施 設		公 園 の に ぎ わ い 創 出 や 市 民 交 流 の 場 と し て 十 分 に 機 能 を 発 揮 で き る よ う に 計 画	基 本 的 に 変 更 は な い が、ア フ タ ー コ ロ ナ を 見 据 え た 意 欲 的 な 提 案 を 促 す
想 定 整 備 方 法 想 定 施 工 期 間		段 階 整 備 (73 ヲ 月 程 度) ※ 週 休 2 日 制 の 導 入 や Z E B に 係 る 設 計 期 間 等 は 考 慮 済 (入 札 公 告 時 点 で は、そ れ ら は 考 慮 す る 必 要 が な か っ た た め 6 0 ヲ 月 程 度 を 想 定 し て い た)	同 時 期 整 備 (60 ヲ 月 程 度) を 主 と す る 計 画 と し つ つ、左 記 の 段 階 整 備 な ど そ の 他 の 計 画 も 想 定 ※ 週 休 2 日 制 の 導 入 や Z E B に 係 る 設 計 期 間 等 は 考 慮 済 ※ 陸 上 競 技 場 は ほ ぼ 現 在 と 同 じ 位 置 (東 西 配 置) と な り、体 育 館 よ り 数 ヲ 月 程 度 早 く 完 成 す る 予 定

4 概算事業費

上記3の「再検討結果」に基づく概算事業費のうち、整備費は約149億円と見込んでいます。運営・維持管理費に要する約39億円を合わせると、当初計画による前回入札公告時の予定価格（約162億円）と比べ約16%増となっています。

体育館の規模や整備方法を見直すなどコスト削減に努めましたが、主な要因としては、建物のZEB化など環境配慮の推進や再検討結果による仕様の見直し、物価の急激な上昇など経済環境の変化に加え、関連法制の改正（建設業における週休2日制導入等）が挙げられます。

次表に、再検討結果に基づく概算事業費と主な増減要因をお示ししています。なお、今後の物価変動や内容の見直しなどにより、金額は変動する場合があります。

項 目	概算事業費	主 な 増 減 要 因
体 育 館	86.0 億円	・ ZEB Oriented 仕様による増 ・ 資材価格（備品類含む）の上昇
陸上競技場	21.0	・ ウォーミングアップ及び観覧スペースの 拡張・仕様変更（ウレタン舗装）による増 ・ 資材価格（備品類含む）の上昇
公園・道路等	16.6	・ 立体駐車場の取り止めによる減 ・ 工事内容変更（遊具・残土処分等）による増 ・ 資材価格（遊具類含む）の上昇
雨水貯留槽	8.6	・ 仕様変更による減
そ の 他（注）	16.8	・ ZEB 導入に伴う設計等各種費用の増 ・ 金利上昇
整 備 費 小 計 ①	149.0	
運営・維持管理費 （開業準備費含む）②	39.2	・ 運営期間にわたる修繕コスト等の増 ・ 陸上競技場早期完成による運営費等の増
事業費合計（①+②）	188.2 億円	

（注）設計費、工事監理費、既存施設解体工事費、割賦金利などが含まれる。

5 今後の予定

※事業者の提案内容・工事の進捗状況等によって、予定時期は変動します。

年度・時期		内 容 （「同時期整備」を想定した場合）
R4年度 (2022)	5月	所管事務報告（今後の進め方）
	7月	所管事務報告（再検討案の概要）
	11月	所管事務報告（再検討の結果） ★今回
	12月	所管事務報告（「実施方針」・「要求水準書（案）」の提示）
	12月	「実施方針」・「要求水準書（案）」の公表
	3月	債務負担行為の設定・入札公告
R5年度(2023)		入札提案書受付・落札者決定・事業契約締結
R6年度(2024)		設計・陸上競技場及び多目的グラウンド解体（埋蔵文化財調査含む）
R7～8年度 (2025～2026)		新体育館及び新陸上競技場建設
R8年度(2026)		新陸上競技場供用開始
R9年度(2027)		新体育館供用開始
R10年度(2028)		旧体育館等解体・公園等整備・公園全面供用開始（グラウンドオープン）

6 次回の報告内容

今回の議会への報告を踏まえ、「実施方針」・「要求水準書（案）」の内容や最新スケジュールについて、報告する予定としています。